

児童生徒支援利用計画書(案) / サービス等利用計画書(案)

利用者(クライアント)氏名	殿	障害程度区分		相談支援事業者名	千葉相談支援事業所Guardian(ガーディアン)
障害福祉サービス受給者証番号				計画作成担当者	山口 哲郎(やまぐち てつろう)
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			

計画書(案)作成日		モニタリング期間(開始年月)		利用者同意署名欄	印
-----------	--	----------------	--	----------	---

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>■安心して生活できる環境の中で、危険な人間関係やトラブルに巻き込まれることなく、自分に合った働き方を見つけながら安定した生活を送りたいと考えている。</p> <p>■不安や困りごとが生じた際には一人で抱え込まず、信頼できる支援者に相談しながら生活していきたいという希望がある。</p> <p>■将来的には、自分で適切な判断ができるようになり、安定した収入を得ながら自立した生活を目指したいと考えている。</p>
総合的な援助の方針	安全な生活環境の確保を最優先とし、関係機関と連携しながら意思決定支援・就労支援・生活支援を一体的に行い、再犯防止と段階的な自立生活の実現を図る。
長期目標(12ヶ月後)	12ヶ月後の理想像として、安全な生活環境の中で支援を活用しながら適切な意思決定ができるようになり、安定した就労と生活リズムを維持しつつ、再犯やトラブルのない自立した生活を送る。
短期目標(6ヶ月毎)	具体的な支援目標として、重要な判断は支援者へ相談してから行い、危険な対人関係を回避しつつ日中活動や就労支援に継続して参加し、不安時には相談行動をとりながら安定した生活リズムを維持する。

優先順位	解決すべき課題<本人・家族のニーズ>	支援目標<本人と挑戦する目標>	目標達成時期	福祉サービス等<種類・内容・量(頻度・時間)>	課題解決のための<本人の役割>	目標評価時期	その他の留意事項
1	被誘導性(騙されない、断る)	不適切な誘いに対して、自分で判断して断れるようになりたい	12ヶ月	自立訓練所●●	誘いや提案を受けた際は、その場で判断せず、必ず一度持ち帰り支援者に相談してから決定する	12ヶ月	本人が誘いや提案を受けた際に即時判断しないよう、必ず一度立ち止まり支援者へ相談するプロセスを徹底すること。
2	性的搾取、危険な対人関係への巻き込まれ	危険な人間関係や環境から自分を守りたい	12ヶ月	千葉南部児童相談所	過去に関係のあった人物や不安を感じる相手からの連絡には応じず、接触があった場合は速やかに支援者へ報告する	12ヶ月	過去の関係者や不適切な誘いにつながる人物との接触機会を最小限に抑え、接触があった場合は速やかに支援機関へ共有すること。
3	愛着不全による関係依存、承認欲求の歪み	安心できる人間関係を築きたい	12ヶ月	■●精神科・診療内科・プレイセラピー	不安や孤独を感じた際は、特定の相手に依存せず、事前に決めた支援者や相談先に連絡する	12ヶ月	特定の人物への過度な依存を防ぐため、複数の支援機関・支援者との関係を維持し孤立を防止すること。
4	短期報酬思考(即金性への依存)	安定した収入手段を持ちたい	12ヶ月	就労移行支援事業所★★	収入が必要な場合でも違法・高リスクな手段は選ばず、就労支援機関の指示に従い段階的な働き方を継続する	12ヶ月	高収入をうたう短期的な収入手段に安易に流れないよう、安定した就労支援の枠組みを優先して行動すること。
5	安全な生活環境の確立	安心して生活できる安全な環境で暮らしたい	12ヶ月	グループホーム■●	生活場所のルールを守り、外出・帰宅時間や金銭使用について支援者と共有・相談しながら生活する	12ヶ月	再びリスクの高い環境へ戻ることがないよう、居住環境および生活行動の安定を優先して維持すること。
6	家族機能不全の代替	家族に代わる安定した相談関係を持ちたい	12ヶ月	千葉相談支援事業所Guardian	定期的な面談や支援機関とのまめな連絡を継続し、自分の状況(困りごと・変化)を正直に伝える	12ヶ月	家族による十分な支援が期待できないことを前提とし、支援機関を中心とした安定した支援体制の中で生活を維持すること。